

新型コロナウイルス感染症による影響に対する 下呂市第9次総合対策

新型コロナウイルス感染症については、現在、第7波の真っ只中にあり、全国的な感染急拡大がこれまでにない勢いで続いている。各地の医療機関では、一般病棟の入退院や救急外来を制限しなければならない状況に追い込まれ、医療のひっ迫が大いに懸念されています。こうした状況のなか、8月5日には県から「岐阜県BA.5対策強化宣言」が発出され、オール岐阜で感染防止対策の徹底に取り組んできているところですが、感染拡大には依然として歯止めがかからず、当初の8月21日までの宣言期間は、現在9月4日まで延長されています。

下呂市も、こうした全国的、全県的な感染急拡大の例外ではなく、8月16日から8月22日までの直近一週間の陽性者数は330人と、ひと月前の同時期陽性者数97人を大きく上回っています。

一方、こうした長期に渡るコロナ禍に追い打ちをかけるように起きた原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響は、引き続き、市民生活や地域経済に大きな影を落としています。

市ではこうした実情を踏まえ、現状、急拡大する感染に対応するために必要な防止対策を改めて検討し、同時に長期に渡るコロナ禍、原油高・物価高等により深刻な打撃を受けている地域経済、停滞する市民生活・社会経済活動を支援するため、本市の第9次総合対策を下記のとおり実施します。

1 実施方針

【3つの方針】

- 方針Ⅰ 新たな感染者の発生防止
- 方針Ⅱ 市民生活・社会経済活動の回復支援
- 方針Ⅲ コロナとともにあら「新しい日常」に向けて

2 実施する対策

方針Ⅰ 新たな感染者の発生防止

現在、第7波の真っ只中にありますが、強い行動制限がないなかでも、新たな感染の発生をできる限り抑制し、また発生したとしてもこれを極力拡大させないための取り組みが必要です。市中感染への対応策として、以下の取組みを実施します。

<令和4年度予備費対応 及び 令和4年度9月補正予算（第7号）に計上>

◇障がい福祉施設等の感染防止対策の強化（福祉部） **1,347千円**

（内訳 予備費：391千円、7号：956千円）

重症化・集団感染リスクが高い障がい福祉施設等に抗原検査キットや、CO2センサー、非接触型検温器等の衛生機器を配布し、感染防止対策のさらなる強化を図る。

◇高齢福祉施設等の感染防止対策の強化（福祉部） **4,810千円**

（内訳 予備費：2,420千円、7号：2,390千円）

重症化・集団感染リスクが高い高齢福祉施設等に抗原検査キットや、CO2センサー、非接触型検温器等の衛生機器を配布し、感染防止対策のさらなる強化を図る。

<令和4年度当初予算対応 及び 令和4年度9月補正予算（第7号）に計上>

◇こども園等の感染防止対策の強化（福祉部） **2,783千円**

（内訳 当初：396千円、7号：2,387千円）

こども園、児童館にスタッフのための抗原検査キットを配布するほか、こども園、放課後児童クラブに非接触型検温器や遊戯室用の空気清浄機等を設置する。

<令和4年度当初予算、予備費対応 及び 9月補正予算（第8号）に計上>

◇下呂市休日診療所における発熱外来の開設（市民保健部） **364千円**

（内訳 当初・予備費：139千円、8号：225千円）

下呂市休日診療所において発熱外来を開設し、新型コロナの感染疑いのある患者に対する抗原検査などの診療ができる体制を整備する。

方針II 市民生活・社会経済活動の回復支援

コロナの感染拡大、またはコロナ禍における原油高・物価高等により深刻な打撃を受けている市民生活、事業者支援に重点を置いた支援を行います。

<令和4年度9月補正予算（第7号）に計上>

◇地元応援商品券による市民生活・経済の活性化（観光商工部） **158,997千円**

市内商工事業者の事業継続と市民生活への支援として、市内の店舗で使用できる5,000円分の商品券を全市民に対して交付し、市内での消費を喚起して地域経済の活性化を図る。

＜令和4年度9月補正予算（第8号）に計上＞

◇中小企業等に対する広告宣伝等の支援（観光商工部） 8,000千円

新型コロナと原油高・物価高騰で売上等が減少している中小企業等の事業者が実施する、年末年始の商戦に向けた商品のPRや誘客などを目的とした広告および宣伝活動に要する経費を支援する。

◇中小企業等に対する販路開拓の支援（観光商工部） 900千円

自社製品のPR、新たな販路の開拓を目的として、中小企業等の事業者が自ら展示会等へ出展する際の経費を支援する。

◇水稻生産者に対する肥料価格高騰支援（農林部） 21,978千円

コロナの影響で生産販売額が減少するなか、肥料高騰の影響を大きく受けている農業生産者のうち、国の高騰対策の要件に該当しない水稻生産者に対し、昨年と比較し増加した差額の1／2を支援する（飛騨3市1村での取り組み）。

方針Ⅲ コロナとともに「新しい日常」に向けて

市民の皆様が安心して活動できるよう「新しい日常」に向けた対策に取り組みます。

＜令和4年度9月補正予算（第8号）に計上＞

◇ワクチン接種の推進（市民保健部） 75,130千円

ワクチン接種（オミクロン株対応ワクチン含む）の接種体制を確保する。

3 本対策の実施にかかる事業費 274,309千円

（内訳） 令和4年度9月補正予算（第7号） 164,730千円

令和4年度9月補正予算（第8号） 106,233千円

令和4年度当初予算及び予備費 3,346千円

- ・今回の対策の財源の一部として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用する予定です。